

源平合戦の死者を弔う盆踊り

白石踊



指定区分	国指定重要無形民俗文化財
読みかた	しらいしおどり
所在地	笠岡市白石島
指定年月日	昭和51年5月4日
解説	白石島に伝承されている盆踊りで源平合戦の戦死者を弔うために始められたといわれている。8月14～16日の夜、砂浜の音頭台を中心に口説きの音頭と太鼓によって島をあげて踊られる。男踊・女踊・笠踊、娘踊など、10種類以上の踊りが伝わっており、一つの音頭に合わせて、それぞれに扮装をした踊り手が、それぞれ異なる踊りを同時に踊るのはほかに類例が少なく、芸能史上に特筆されるものである。
アクセス方法	笠岡港から三洋汽船乗船 / 伏越港から白石フェリー乗船
公開状況	開催日：8月14～16日
設備	トイレ 
備考	7月20日から8月13日までの間の土曜日には午後8時から観光用に海水浴場砂浜で踊られています。また、お盆の時期には見学ツアーも行われます。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	白石踊
よみかた	しらいしおどり
しょざいち (所在地)	笠岡市白石島
していつひ (指定した日)	昭和51年5月4日
せつめい	岡山の三大盆踊(ぼんおどり)の一つです。源平合戦(げんぺいがっせん)の戦死者(せんししゃ)の霊(れい)をなぐさめるために始(はじ)まったと言われています。いろんな姿(すがた)をした人々が、一つの音頭(おんど)のなかで、それぞれ異(こと)なる踊(おどり)を同時(どうじ)に踊るのが特徴(とくちょう)です。